

# 日刊 人事通信

發行所 東京市橋區北橋町一〇  
日刊 人事通信社  
編輯部 東京 橋區北橋町一〇  
電話 東京 六七六二 二六五六

## 爭議團員六名

### 哲南莊にすがる

#### 幹部の行動に憤慨して 昨日組合を脱退

憤慨にして脱退するが、泉某の不徳行爲は、わが社の報復に依つて始めて公に立証せられた、これまでも眞面目に組合の規約を遵守し盲従して不純なる争議に参加した多くの、善良なる職工達が、激怒するのは當然であらう、十年に人生最大の苦痛を嘗めしむるの事は、これが深く深い罪惡はなく、これほど深い罪惡をあつめた悲惨事はないのである。九日脱退した組合員監視の眼を潜つて、脱々出戻し、哲南莊主人に頼りつゝいた六名の純朴にして善良なる職員があつた、彼等が口角泡を飛ばして所謂争議幹部といふを罵つたのも無理はない、職六名の職員が以下は、職六名の一部分である。脱退組口を揃へて罵る。

## 疑雲さらに深し

### 小泉某等の怪行動

#### 脱退組口を揃へて罵る

組合費といひ、争議費といふも、職員の爲め出掛けたわが組合の幹部三が、同地の岩崎油店より、黄白三千圓をせしめ、血を絞つた蓄積であつた。

「松戸電話」 既報松戸區裁判所に於て開廷された野田購買利用組合差し押へ事件の公報は、外衆その第一回を終了したが、原告側は代理辯護士野田、種田金蔵、野田秀雄、三氏の外、傍聴として大和民衆會、哲南莊主人、江東唯一の大衆分上萬一家その他、友人團體領袖等多數押かけ、事件の成行につき異常の注意を喚起した。

## 組合の基礎 薄弱

### 第一回公判の詳報

「松戸電話」 既報松戸區裁判所に於て開廷された野田購買利用組合差し押へ事件の公報は、外衆その第一回を終了したが、原告側は代理辯護士野田、種田金蔵、野田秀雄、三氏の外、傍聴として大和民衆會、哲南莊主人、江東唯一の大衆分上萬一家その他、友人團體領袖等多數押かけ、事件の成行につき異常の注意を喚起した。

注目を喚起した。